海外安全対策情報

平成２８年４月現在

１．治安・社会情勢

ノバイ市（ミシガン州）、ダブリン市（オハイオ州）など在留邦人が多い住宅地域における侵入盗が増加傾向にあります。今後、気候がさらに暖かくなると開放された窓からの忍び込み事案などが増加することが予想されます。その他に屋外での強盗や性犯罪なども例年夏場に増加する傾向があります。外出時は常に身の回りを警戒する習慣をつけることが重要です。盗難防止対策としては貴重品を分散して保管する（身につける）、短い間の外出時でも戸締まりを確実に行うなどの対策をしっかり講じるようお願いします。

２．一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州，オハイオ州）の主要都市及び在留邦人が多数居住している地域の犯罪種別ごとの発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2016年1月1日から同年3月31日。括弧内は前３ヶ月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	加重暴行	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	ﾒﾄﾛﾃﾞﾄﾛｲﾄ	56 (-17)	3 (-9)	658 (-247)	1827 (-210)	1790 (-953)	3230 (-1159)	1898 (-339)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	54 (+19)	15 (+7)	37 (-17)	29 (-23)
	アナーバー	0 (±0)	14 (-1)	5 (-6)	122 (-7)	35 (-53)	110 (-81)	79 (-38)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (-2)	2 (+1)	30 (+5)	29 (+8)	61 (-34)	75 (+29)
	コロンバス	2 (-7)	1 (-4)	91 (-3)	21 (-5)	170 (-38)	293 (-207)	108 (-217)
	シンシナティ	2 (+1)	13 (+3)	46 (-8)	38 (+6)	159 (-63)	383 (-117)	17 (+9)

３．テロ・爆弾事件発生状況

米国内において具体的なテロ情報には接していませんが、国際的に見るとイスラム過激派組織ISILが日本を標的として名指しており、海外のいかなる地域においても日本人、日本の権益がテロに巻き込まれる可能性は否定できません。

４．誘拐・脅迫事件発生状況

なし

５．日本企業の安全に関わる諸問題

当地における対日感情は良好であり、当該具体的情報には接していません。